

# 平成20年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	中期集中型合宿訓練を取入れた若年者自立支援プログラムの開発		
法人名	学校法人友幸学園		
学校名	専門学校九州テクノカレッジ		
代表者	理事長 田所 徹夫	担当者 連絡先	古門 二三夫

## 1. 事業の概要

保護者に対して若年者を家庭の枠から出させる必要性をカウンセリングで気付かせ、本事業への参加意義を理解させる。準備合宿(2泊3日)を行い、若年者に家庭の枠から出ることに楽しさがある事を体験させる。中期集中型合宿訓練(4泊5日)では、家庭の枠から出ることの情緒的な不安を自然と触れ合うことでやわらげて、仕事体験を通じて他人とのコミュニケーション能力の向上や障害者支援施設での作業体験やリサイクル企業見学等で、社会へ出る意欲を向上させる。

保護者向けカウンセリングにより保護者の状況と保護者から見た若年者の状況を知る。保護者向け講座については、若年者の取り巻く状況を伝え、具体的支援方法(エンパワーメント)を伝える。

また、若年者と保護者が一緒にパン作りをし、それが保護者や周りの者に喜びを与えることに気付かせる。社会復帰意欲の出た若年者に対して職業訓練や就職のために役立つジョブカードを作るようにサポートする。

## 2. 事業の評価に関する項目

### ①目的・重点事項の達成状況

今回の事業実施において、カウンセラーと若年者との間に、準備合宿や中期集中型合宿訓練を通じて、感情の交流を行える信頼関係を作り上げることができました。

また、保護者とはカウンセリングや保護者講座を通じて信頼関係の構築に勤めました。これにより発達障害の若年者の保護者には、発達障害の傾向が多く見られました。保護者に対して発達障害は恥じるものではないことを理解させれば、保護者の若年者への接し方が変わり、若年者の社会復帰への行動ができるようになりました。

### ②事業により得られた成果

本事業の中期集中型合宿訓練を含むすべての実証講座を修了した若年者9名中5名が就職するための活動を始めたことは本事業の大きな成果です。(5名の内1名がアルバイトを開始、2名が職業教育の訓練を受けることになり、1名が専門学校に進学、残りの1名が就職するための第一歩としてボランティア活動を開始した。)

また、この中期集中型合宿訓練を取入れた若年者自立支援プログラムが汎用性があり、全国展開するためのテキストを作成することができたことも本事業の成果であります。

### ③今後の活用

今後も、この中期合宿プログラムを毎年企画し、NPO団体やフリースクールなどと協力し、一人でも多くの引きこもりの若年者を社会復帰させる手助けを続けたいと考えています。

また本プログラムの有効性を全国に伝え、できる限りの普及のためにNPO団体との提携を探り、フリースクールなどと協力し出張講座などを通じて若年者の自立を図る活動を続けていきたいと考えております。

### ④次年度以降における課題・展開

今回の事業においてこれだけの成果をあげたのはカウンセラーの方々のご助力が大きかったと考えます。特に、保護者の方へのカウンセリングが非常に重要で保護者の方が現状を理解し、行動するようにすれば、若年者の自立の可能性は高くなります。そのため、今後このプログラムを普及させるにはカウンセラーを充実させる必要があります。今後の展開を考える時、カウンセラーの育成も視野に入れる必要があるかと考えます。

### 3. 事業の実施に関する項目

#### ①履修証明書等

ジョブカード作成セミナー開催 講師:2名(キャリアコンサルタント・ジョブカード登録証所持)  
受講者 若年者:8名 保護者:7名

#### ②カリキュラムの内容

- ①保護者向けカウンセリング  
内容:若年者の現状(個別)・若年者の変化Ⅰ(個別)・若年者の変化Ⅱ(個別)・若年者の変化Ⅲ(集団)合計4回(12時間)
- ②若年者向けカウンセリング  
内容:不安と不満についてⅠ(個別)・不安と不満についてⅡ(個別)・不安と不満についてⅠ(集団)・不安と不満についてⅡ(集団)・不安と不満についてⅢ(集団)・不安と不満についてⅣ(集団)合計6回(12時間)
- ③合同カウンセリング  
内容:保護者と若年者の現状Ⅰ・保護者と若年者の現状Ⅱ・保護者と若年者の変化Ⅰ・保護者と若年者の変化Ⅱ 合計4回(12時間)
- ④保護者向け講座  
内容:若年者を取り巻く現状Ⅰ・若年者を取り巻く現状Ⅱ・障害に対する基礎知識・支援方法とエンパワーメント 合計4回(16時間)
- ⑤保護者企業見学 2社
- ⑥若年者講座  
A. 準備合宿(2泊3日)  
1日目 内容:懇談会・他人紹介 2日目 内容:京都しごと館仕事体験 3日目 内容:仕事体験感想文作成・今後の目標設定  
B. 中期合宿(4泊5日)  
1日目 内容:野外調理・山歩き(皿倉山) 2日目 内容:九州民芸村でしごと体験  
3日目 内容:障害者支援施設で作業体験・野外調理 4日目 内容:リサイクル企業見学・野外調理  
5日目 内容:自然散策(皿倉山)・今後の目標設定  
C. 自立支援講座(パン作り講座 3時間・ジョブカード作成セミナー 3時間)
- ⑦合同セミナー(自己啓発講座 3時間)

#### ③講座の実施

- ①保護者向けカウンセリング  
第1回 内容:若年者の現状(個別) 3時間 参加数:9名 第2回 内容:若年者の変化Ⅰ(個別) 3時間 参加数:8名  
第3回 内容:若年者の変化Ⅱ(個別) 3時間 参加数:9名 第4回 内容:若年者の変化Ⅲ(集団) 3時間 参加数:10名
- ②若年者向けカウンセリング  
第1回 内容:不安と不満についてⅠ(個別) 2時間 参加数:9名 第2回 内容:不安と不満についてⅡ(個別) 2時間 参加数:8名  
第3回 内容:不安と不満についてⅠ(集団) 2時間 参加数:10名 第4回 内容:不安と不満についてⅡ(集団) 2時間 参加数:10名  
第5回 内容:不安と不満についてⅢ(集団) 2時間 参加数:10名 第6回 内容:不安と不満についてⅣ(集団) 2時間 参加数:10名
- ③合同カウンセリング  
第1回 内容:保護者と若年者の現状Ⅰ 3時間 参加数:若年者7名・保護者7名  
第2回 内容:保護者と若年者の現状Ⅱ 3時間 参加数:若年者6名・保護者7名  
第3回 内容:保護者と若年者の変化Ⅰ 3時間 参加数:若年者10名・保護者9名  
第4回 内容:保護者と若年者の変化Ⅱ 3時間 参加数:若年者10名・保護者7名
- ④保護者向け講座  
第1回 内容:若年者を取り巻く現状Ⅰ 4時間 参加数:9名 第2回 内容:若年者を取り巻く現状Ⅱ 4時間 参加数:8名  
第3回 内容:障害に対する基礎知識 4時間 参加数:7名 第4回 内容:支援方法とエンパワーメント 4時間 参加数:10名
- ⑤保護者企業見学 コラボ北九州・北九州缶瓶リサイクルセンター 参加数:10名
- ⑥若年者講座  
A. 準備合宿  
1日目 内容:阪九フェリーで移動(船中泊)・他人紹介 参加数:10名  
2日目 内容:京都しごと館仕事体験・阪九フェリーで移動(船中泊) 参加数:10名  
3日目 内容:阪九フェリーで移動中・感想文作成・今後の目標設定 参加数:10名  
B. 中期合宿(宿泊場所:北九州ユースホステル)  
1日目 内容:野外調理・山歩き(皿倉山) 参加数:9名  
2日目 内容:九州民芸村でしごと体験 参加数:9名  
3日目 内容:障害者支援施設(コラボ北九州)で作業体験・野外調理 参加数:9名  
4日目 内容:リサイクル企業見学(北九州エコタウン)・野外調理 参加数:9名  
5日目 内容:自然散策(皿倉山)・今後の目標設定 参加数:9名  
C. 自立支援講座  
第1回 内容:パン作り講座 参加数:若年者7名・保護者5名  
第2回 内容:ジョブカード作成セミナー 参加数:若年者8名・保護者7名
- ⑦合同セミナー  
第1回 内容:自己啓発講座 参加数:若年者7名・保護者12名

④支援対象者(受講者)の状況

参加者数

保護者 10名

若年者 9名(全講座修了)

